

kintone dojo

kintone REST API課題②

システムコンサルティング本部

Launch部 Dojo-G

課題

■ 目的

- kintone REST APIを理解する
- JavaScript APIとREST APIの組み合わせを理解する
- 同期処理/非同期処理を理解する

■ やること

- kintoneカスタマイズを実施する
 - JSAPIのアプリテンプレートを使用すること

■ 提出物

- JavaScriptファイル

課題

- 前回のJSAPI課題②では別レコードと重複していた場合は**必ず保存できなかった**
 - 重複を許可するかどうかはレコードごとにユーザーに任せたい
 - 標準機能の重複禁止は外したいが、レコード保存時に重複しているかは把握したい
 - ダイアログでOK/Cancelを表示して、
 - OKを押したらそのままレコード保存
 - Cancelを押したら保存操作を取り消して編集画面に戻る
- 計算用フィールドも配置したくない

**レコード保存ボタンを押したときに、
自動計算フィールドに対して、
他レコードと重複があるか確認したい**

日付 サイボウズ製品 * 管理番号 *

2021-05-21 kintone 1

↓ 重複禁止は必要ないが、重複しているかはレコード保存時に知りたい

重複禁止項目

20210521-KN-1



課題

- レコード保存ボタンを押したときのキャンセル処理の仕方
 - イベントハンドラーに対して、falseをreturnすると保存処理をキャンセルできる
- REST APIの実行結果を待ってからreturnしたい場合はPromiseをreturnする
 - Promiseをreturnする場合としない場合で処理が大きく変化するので、実際に試しながら確認しましょう

非同期処理の完了を待って次の処理を行う

kintone.Promiseオブジェクトをreturnすることで、非同期処理の完了を待ってからフィールドの値に応じた制御を実行できます。

同じイベントに複数のイベントハンドラが登録されているとき、エラーなどが発生してThenableオブジェクトが棄却された場合には、後続のイベントハンドラの処理は実行されません。

記述方法は[kintoneにおけるPromiseの書き方の基本](#)を参考にしてください。